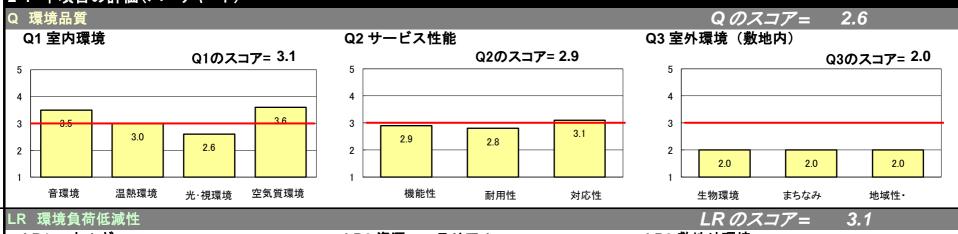
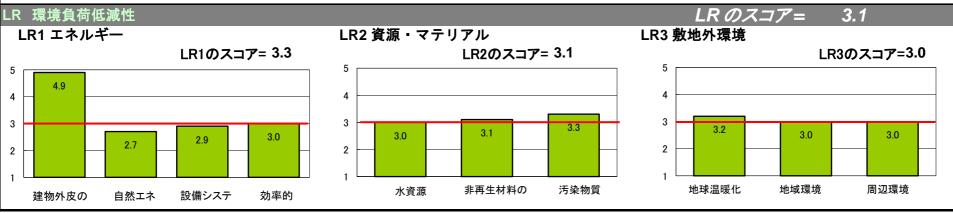
r05cas17-2.xlsx 結果(SDGs評価なし)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)









3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため断熱性能、遮音性を高め、安全性の面からはF☆☆☆☆の内装材を全面 的に使用している。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
		特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備システムの効率化に配慮した。	内装材にリサイクル材を使用し、資源の有効利用に配慮した。	特になし

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される